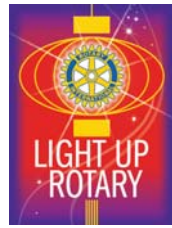




2014～15 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

Weekly Report Niigata



ロータリーに輝きを

2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ



2014～15 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹

新潟 RC10 月第 1 例会 (2014.10.7) No.3058

(1) 「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 高橋 秀樹会長挨拶

さて、前回の会長挨拶ではマララ・ユスフザイさんの活動を取り上げ、ロータリーの重点分野の一つである「基本的教育と識字率向上」と関連させてお話ししました。本日はそれにつなげて識字率のお話をしたいと思います。教育の基本的なことのひとつに、字の読み書きがあることは言うまでもありませんが、現在、世界では約7億7600万人の成人が字を読むことができないと言われています。スライドをご覧ください。識字率の向上は、貧困問題を解決する上でも、国際的な相互理解を進め紛争を鎮める上でも、世界的なテーマであると言えます。このようにいうと、いかにも世界の発展途上国の識字率のお話を始めそうですが、今日はちょっと目先を変えて、日本の識字率についてお話ししたいと思います。

幸いなことに日本の識字率は99.8%であり、非常に高い水準にあります。しかも日本の識字率の高さは昔からの伝統的なものでした。これまでに、日本の識字率の高さが海外から注目され、そのことが日本の運命に大きく関わったことは、2度ほどあったようです。

一つは幕末に欧米人が次々と来航した時です。多くの来航者が、日本人は一般庶民でも読み書きができるということに驚き、記録を残しています。その理由は、寺子屋などの地域住民の自助努力的な教育活動が普及していたからでした。当時の日本の識字率は、イギリスやフランスよりもはるかに高かったようです。このことは開国してからの日本に決定的な意味をもったようです。一刻でも早く欧米諸国の技術や産業の水準に追いつかなければ、いつ植民地化されるかわからないという状況の中で、日本がいち早く近代化に成功し、国を存続させることができた背景には、一般庶民の教育水準の高さがあり、国民全体として大きな変化に対応することができた、ということがあったようです。

もう一つの出来事は、第二次世界大戦終了後にありました。いわゆるGHQはさまざまな点で日本の改革を断行しようとしたが、その一つに、日本語のローマ字化という構想がありました。アメリカ人にとって、膨大な漢字とひらがな・カタカナが複雑に使い分けられる日本語の文字は、あまりにも難解に思えました。これを使うことができ

るのは一部の上流階級だけに違いない、と彼らは考え、日本人が死ぬまで戦ったのは、文字の読み書きができない大衆に間違った情報が与えられていたからだ、と想像し、日本の民主主義化には、文字を簡単にして庶民に教育を普及させることが絶対に必要だ、と判断したのです。1946年には、アメリカ教育使節団が来日し、25日ほど日本を見て回った後、日本語をアルファベットにすれば識字率を上げて、日本を民主主義化できる、と勧告しました。これをうけて、1948年に識字率の調査が行われます。全国270箇所の市町村で、15歳～64歳の17,100人が調査対象になりましたが、炭焼きのお婆さんでもジープで連れ出して試験を受けさせるという徹底ぶりだったそうです。その結果、なんとテストの平均点は78.3点、当時の日本人の識字率は97.9%という高い水準にあったことが判明し、実質的に満点をとった者は約500万人に及びました。これに驚いたGHQは当初の計画を変更し、日本語のローマ字化は取りやめになったのです。

さて、戦後70年間をふりかえってみて、この判断の是非はどのように考えられるのでしょうか。戦後、日本は驚くべき経済成長を遂げ、先進国であり続けました。バブル経済の崩壊後は経済活動が低迷し、現在に至っていますが、それに反比例するかのように日本の文化についての世界的な評価は益々高まる傾向にあることは、みなさんもご存じの通りで、ここにこれからの日本の活路を見出そうという動きも少なくありません。戦後の経済発展という結果についても、文化の世界的な評価という結果についても、それらを支えてきたものの根幹に、日本ならではの文字体系があります。ローマ字化のとりやめは、我々日本人にとって幸いな判断だったと言えると思います。

では、これからの日本はどうでしょうか。突然話が変わってすみませんが、現在当用漢字とされているものは1850字あり、これに平仮名、片仮名、アルファベット大文字、小文字を加えると、ほぼ2000字になります。仮に今、2000個のまったく知らない文字をこれから一から憶えて正しく使いこなしてください、と言われたら、みなさんはどうしますか？ つまり、小学校や中学校などで長い時間をかけて安定した教育を行うことは、極めて重要で必要不可欠なものなのです。しかるに、現在、この小学校や中学校の教育では、いじめや不登校、不審者による傷害致死事件など深刻な問題が少なくありません。私たち日本人の多くにと

って「基本的教育と識字率」の問題という、どこか遠い発展途上国のことという印象が強いと思います。しかし、ぼんやりしていると、いつのまにか致命的な事態にならないとも限りません。このことが国の将来に決定的な影響を与えることは、今日お話ししましたように、開国後の歴史、そして第二次世界大戦後の歴史から明らかであります。

みなさんはロータリアンです。それぞれのお立場から、日本の教育を見守り支えて下さることを、そしてできれば、世界人類の教育に大きな関心を持って下さることを願っております。

(3) 100%出席バッチの贈呈

横村 正一君 7年 前川 磐君 10年
斎藤庫之丞君 13年

(4) 誕生日お祝い贈呈(14名)

(5) 結婚記念日お祝いの紹介(19名)

(6) 同好会報告

・山田 隆一野球部幹事 旧新潟市内7RC 野球大会が11月1日鳥屋野球場にて開催されます。8:30～新潟東RCと対戦しますので、会員の皆様の応援をよろしくお願い致します。10月15日決起大会をイタリア軒にて開催いたしますので、お気軽に参加下さい。また、選手としての参加も歓迎致します。

・高橋 康隆料理研究会会長 10月22日、第7回の勉強会を新潟調理師専門学校で開催致します。今回のテーマは「秋刀魚で秋の味覚を楽しもう」です。関心のある方、お気軽に幹事の吉田和弘さんへお声掛け下さい。

(7) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(宇尾野 隆委員)

徳山 啓聖君 宇尾野 隆君
小木 順一郎君 鈴木 滋弥君

・10月4日 米山委員長セミナーに地区委員として又、徳永昭輝委員長の代理として出席して参りました。先週、米山奨学会豆辞典を配布させて頂きました。米山奨学記念事業発足の理由、留学生が自国に帰ってから日本との懸け橋となって欲しいという使命、元奨学生の現在の活躍について辞典に記載されています。10月は米山月間ですので皆様のご寄付をよろしくお願い致します。

青少年育成基金寄付発表(山田 隆一委員長)

樋熊 紀雄君

(8) ニコニコボックス紹介

・竹石 松次君 先週スイスに私用で参りました。濱田さんの本日のエーデルワイス、私の今の心情を音楽で表現して頂きました。ニコニコです。

・登坂 直美君 10月1日より子会社のチューリッ

プライフ(株)の社長を兼務することになりました。よろしくお願い致します。

・武田 博之君 本日、10月7日は損害保険協会統一の「東南防止の日」で、今朝、コズミックビルの前で答案防止のビラを配らせていただきました。マスコミ各社に取材にきていただき、ありがとうございました。

・金親 顯男君 結婚記念日祝のお花ありがとうございます。後5年で金婚式ですので、もう少し頑張ります？

・佐藤 厚君 おかげ様で10/6北越銀行南新潟支店、無事オープン致しました。平日7時まで、土日祝日も営業しております。是非ともお立ち寄りください。

・前川 磐君、高橋 清文君 我がジャイアンツがリーグ優勝出来ましたのでニコニコします！この後、クライマックスシリーズを勝ち抜き日本シリーズへ向かいます。昨年惜しくも逃した日本一を必ず奪還します！！その折に又ニコニコさせてもらいます！

(9) 理事会報告(高橋 秀樹会長)

2015年1月13日に予定されておりました新年家族会は、都合により1月27日に変更させて頂く事になりました。

(10) 米山月間に因み米山奨学生のお話

「日本に来てから今まで」

米山奨学生 朴 治国 さん



(11) 朴 治国さんへ奨学金贈呈

(12) 本日の出席率 69.38 %

(2週間前メーク後 83.16 %)

10月14日の例会予定

卓話「親から子へ～地域災害史の伝承」

丸運建設株式会社 代表取締役副社長 南木 均氏

10月7日 理事会報告 出席者10名

1 会長選考委員会の設置について

小林悟会員を委員長に選任する。第1回委員会は10月14日に開催する予定である。

2 年次総会告示について

2014年11月4日に告示する事を承認。

3 職場訪問日程について

2014年11月18日に職場訪問を実施することを承認。

4 新年家族会の日程変更について

1月13日に予定していた行形亭での新年会は、数か月前に予約をしたものの、芸妓さんの手配が不可能な為、1月27日に変更することを承認。

5 地区大会について

- ・第一日目は4名、2日目は18名の参加予定。
- ・地区大会で報告予定の前年度(山崎年度)地区決算について＝コピー配布・確認

6 10月のプログラム＝承認

10月 7日 米山奨学生 朴 治国さん

10月14日卓話

「親から子へ～地域災害史の伝承」

丸運建設株式会社代表取締役副社長 南木均氏

10月21日卓話「労働力減少 待ったなし！

両立支援で女性の活躍を引き出そう」

一財)新潟経済社会リサーチセンター

理事 佐藤 孝一氏

10月28日 月見夜例会

17:30～ イタリア軒

7 その他

9月2日理事会にて決定し地区へ提出した2016年規定審議会提出立法案(決議案)を制定案に変更する件＝既に理事会で決議し地区へ報告済の為、決議案のままとする。

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>